

会 議 録

会議の名称	令和 7 年度第 2 回西東京市介護保険運営協議会
開催日時	令和 7 年 10 月 2 日（木曜日） 午後 7 時から午後 8 時 30 分まで
開催場所	西東京市役所 田無第二庁舎 4 階会議室
出席者	<p>（出席委員） 渡邊委員長、尾林委員、内田委員、大澤委員、花坂委員、森委員、佐藤委員、篠宮委員、小口委員、奥井委員、加瀬委員、立川委員、松本委員</p> <p>（欠席委員） 梶川副委員長、岡田委員、藤井委員、伊集院委員</p> <p>（事務局） ささえあい・健康づくり担当部長、高齢者支援課長、介護保険担当課長、以下 11 人</p>
議題	<p>(1) 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 9 期）の取組状況について</p> <p>(2) 計画策定に係るアンケート調査について</p> <p>(3) その他</p>
会議資料の名称	<p>資料 1－1 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 9 期） 施策の取組目標とその結果（指標）</p> <p>資料 1－2 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 9 期）取組状況</p> <p>資料 2 計画策定に係るアンケート調査（案）</p> <p>資料 2－1 高齢者一般調査</p> <p>資料 2－2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査</p> <p>資料 2－3 在宅介護実態調査</p> <p>資料 2－4 介護サービス事業者調査</p> <p>資料 2－5 医療機関調査</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会 議 内 容	
1 開会	
2 議題	<p>（1）高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 9 期）の取組状況について</p> <p>○事務局：</p> <p>高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第 9 期）施策の取組状況について、資料 1－1、資料 1－2 に基づき説明。</p> <p>○委員：</p> <p>資料 1－2、通し番号 5 番の高齢者生活状況調査の実施について、取組評価が D であるの</p>

は、令和6年度に実施できなかったからか。

○事務局：

令和6年度に実施せず、令和7年度に実施することになったため、D評価としている。

○委員：

資料1－2、通し番号24番の認知症サポーターの養成について、取組評価がBとなっているが、地域包括支援センターが中心となり認知症サポーター養成講座を開催しており、最近では、小中学校にも対象を広げているところである。この施策をさらに普及させるためには、地域包括支援センター以外の認知症予防に関する団体にも、認知症サポーター養成講座の講師を担っていただくことをご検討いただきたい。

○事務局：

地域包括支援センターには大変ご尽力いただいていることは承知している。今後は、地域の様々な活動団体にも認知症サポーターの役割等を幅広く知っていただくよう、地域包括支援センターと連携して取り組んでまいりたいと考えている。

○委員：

資料1－2、通し番号2番のささえあいネットワークの充実について、ささえあい協力員・ささえあい訪問協力員の減少の要因として、協力員の高齢化とされているが、具体的な平均年齢を教えてください。

○事務局：

協力員の平均年齢は正確に把握していないが、辞退届をいただく際の要因として、ご自身の体調不良や要介護認定を受けたことで活動が困難になったという事例があるため、協力員の高齢化を課題認識として挙げている。

○委員：

資料1－2、通し番号7番の市民介護講習会の開催について、令和6年度は当施設が担当させていただいた。3日間で19名にご参加いただき、介護の知識や技術の説明のほか、施設見学の中で、認知症の講座や食事内容を見ていただいた。施設と市民の方々との情報交換や、市民の方々同士で介護の悩み事を共有することができたため、非常に良い評価をいただいた。令和7年度は、さらに多くの市民に発信する立場として、市に協力いただきながら推進していきたい。

○事務局：

昨年度の参加者の感想として、「介護に対する不安の解消につながった」、「ケアの仕方を

実体験できたことが大変良かった」という声のほか、「施設の方が大変熱心に介護にあたられていて感動した」という感想をいただいた。市民の方々に皆様のサービスの内容を知ってもらえたことも、当事業の成果であると考えている。

○委員：

資料１－２、通し番号２に関連して、社会福祉協議会にて地域サポート「りんく」の運営を受託しているが、ボランティアの高齢化は切実な問題であると認識している。協力員からは、自分よりも年下の方を見守っているとの話もあり、元気な高齢者が見守り活動を行っていることは素晴らしいことだが、ボランティア活動を推進するにあたり、若い担い手の育成も必要である。定年の延長が進んでいる中、仕事等、日中に活動している人も多くなっているため、学生の方々にもご協力いただけるように取り組んでいきたいと考えている。

○委員：

資料１－２、通し番号４４番の西東京市くらしヘルパーの養成・活用促進について、当社でも３名のくらしヘルパーの方に働いていただいている。総合事業に携わる中で介護のやりがいを感じていただき、現在、２名の方に介護職員初任者研修を受講していただいている。このような活動を推進して、訪問介護ヘルパーの人材の確保や育成に繋げていただきたいと考えている。

○事務局：

今後も必要な支援を行い、人材不足によりサービスを受けられない方を出さないように、事業を推進してまいりたい。

○委員：

資料１－２、通し番号６番の家族会・介護者の集いの支援について、利用者のご家族からは、このような会があり大変助かっていると伺っている。一方で、娘介護者の会に参加しているとの話を聞く機会が多いが、息子介護者の会の参加状況はいかがか。

○事務局：

具体的な数値は把握していないが、開催日によっては息子介護者の会の参加者のほうが少ないこともある。今後も、介護されるご家族の方々への普及啓発等に努めてまいりたい。

○委員：

資料１－２、通し番号２番、３番、２４番認知症サポーターの養成の取組評価がＢ評価となっているが、計画値が高いことが要因となっているのではないか。例えば、認知症サポーター養成講座は継続して実施しており、市民に十分周知されていることから、さらに人数を増やすことが難しくなっているとも考えられる。計画値の数値を見直してもよいのではない

か。

○事務局：

西東京市では、85歳以上の高齢者が大変増加しており、そのような方々を支えるサポーターを増やすために高い計画値を設定している。第10期計画を策定するにあたり、計画値の見直しを検討するが、認知症に優しいまちづくりを目指すためにも、少しでも多くの方にご協力いただけるよう努力してまいりたいと考えている。

○委員：

資料1－1、2ページの生きがい推進事業への延べ参加人数について、計画値11,000人に対して、実績が30,000人を超えており、大変多くの方が参加している。しかし、実績に対して、自分の周りでは、フレイル予防に関心はあるが、講座に申し込んでも落選して参加できないとの意見も聞いている。講座等の回数や参加人数を増やす予定はあるか。

○事務局：

福祉会館、老人福祉センターで行っている様々な講座等について、大変盛況で落選している人もいることは承知している。講座等の回数をすぐに増やすことは難しいが、市では地域に様々なサロン、集いの場を用意しており、それらを周知して興味を持たれた方には紹介していきたいと考えている。

(2) 計画策定に係るアンケート調査について

○事務局：

計画策定に係るアンケート調査について、資料2－1から資料2－5に基づき説明。

○委員：

資料2－2、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査について、西東京市では、フレイル予防の取組として、フレイルチェック、いきいき百歳体操、しゃきしゃき体操など推進してきたが、認知度を何う設問を追加してはいいかがか。

○事務局：

把握すべき事項ではあるという認識である。設問の追加、または、別の調査や聞き取り等での把握を含めて検討してまいりたい。

○委員：

性別を何う設問について、男性、女性の2択でよいのか。また、資料2－4、介護サービス事業者調査の中で、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）にどのように携わっているかという設問が見当たらないがいかがか。

○事務局：

性別を伺う設問については、多様性を踏まえて対応してまいりたい。ＡＣＰに関する設問については、繰り返しになるが、設問の追加、または、別の調査や聞き取り等での把握を含めて検討してまいりたい。

（３）その他

○事務局：

次の２点を報告

- ・次回協議会の開催予定
- ・東京都「介護現場におけるカスタマーハラスメント」パンフレットについて

３ 閉会